

2027年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2026年8月7日

上場会社名 アールビバン株式会社

コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 執行役員 (氏名) 野澤 克巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画室長 (氏名) 樋口 弘司

上場取引所 東

TEL 03-5783-7171

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,814	11.4	593	△0.3	547	△1.0	299	△26.3
2026年3月期第1四半期	2,526	△8.3	594	12.2	553	△18.5	406	△15.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 356百万円 (△20.7%) 2026年3月期第1四半期 449百万円 (△0.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	32.71	—
2026年3月期第1四半期	44.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	37,300	16,329	43.8	1,784.32
2026年3月期	36,645	16,247	44.3	1,775.36

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 16,329百万円 2026年3月期 16,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期中間配当金 (1株当たり配当金) の内訳: 普通配当15円00銭 特別配当15円00銭 合計30円00銭
2026年3月期期末配当金 (1株当たり配当金) の内訳: 普通配当15円00銭 特別配当15円00銭 合計30円00銭

3. 2027年 3月期の連結業績予想 (2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	6,000	10.6	1,100	△7.3	1,000	△20.5	650	△22.2
通期	12,000	△5.3	2,400	△11.1	2,300	△14.2	1,400	△17.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	9,152,316 株	2026年3月期	9,152,316 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	630 株	2026年3月期	629 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	9,151,687 株	2026年3月期1Q	9,107,516 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中東などの海外情勢、円安や資源高・物価高等の影響があったものの、輸出の持ち直し、雇用・所得環境の改善に下支えもあり、改善個人消費を中心に内需が底堅く推移したことから、景気は緩やかな持ち直しを続けている状況が見られました。

このような状況の下、当社グループでは、2026年4月度よりスタートした第43期は、主力の「アート関連事業」を中心に、成長スピードを加速させるよう、一段と事業運営に注力いたしました。

更に中長期的な視点に基づき、人材、組織など経営基盤固めを実践するとともに、新規顧客の開拓及び過去に捉われない新たな収益基盤の創造にチャレンジしてまいりました。

基幹の「アート関連事業」におきましては、多くのお客様に催事会場にお越しいただいており、「絵のある豊かな生活(くらし)」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう積極的な営業展開を行ってまいりました。

「健康産業事業」におきましては、溶岩ホットヨガ店舗を運営しておりますが、会員数の新規獲得と退会防止を図り、地域の皆様の「心と身体の健康」に寄与してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,814百万円(前年同四半期比11.4%増)、営業利益593百万円(同0.3%減)、経常利益547百万円(同1.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は299百万円(同26.3%減)となりました。

売上高の増加の主な要因は、版画等の売上(発送)が順調に推移したこと等によります。営業利益及び経常利益の減少の主な要因は、前期では、催事にかかる経費等(販売費及び一般管理費)を通常より抑えることができたため経費率が低下いたしました。当期はより積極的な営業展開を行ったため増加しております。親会社株主に帰属する四半期純利益の減少の主な要因は、前述の営業利益の減少及び法人税等合計額が増加したことによります。

事業の種類別セグメント業績は、次のとおりであります。

◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、従来に引き続き、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力し、新規顧客の獲得及び取扱アーティストのブランド化や新作家開発に努め、版画の売上拡大につなげてまいりました。

しかしながら、売上高は2,132百万円(同13.7%増)となったものの、営業利益は229百万円(同13.5%減)となりました。営業利益の減少の主な要因は、前期では、催事にかかる経費等(販売費及び一般管理費)を通常より抑えることができたため経費率が低下いたしました。当期はより積極的な営業展開を行ったため増加しております。

◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、従来に引き続き、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入あっせん事業(以下、クレジット事業といいます)を中心に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は464百万円(同11.4%増)となり、営業利益は317百万円(同10.0%増)となりました。

◆健康産業事業

ホットヨガ事業におきましては、新規会員の獲得と退会防止に注力して運営してまいりました。

この結果、売上高は218百万円(同6.8%減)となり、営業利益は26百万円(同3.2%減)となりました。

売上高及び営業利益の減少の主な要因は、不採算店舗を閉店したことによります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は33,932百万円となり、前連結会計年度末に比べ688百万円増加いたしました。これは主に、クレジット事業の割賦債権取扱高増加等により売掛金が723百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,368百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が48百万円増加したものの、繰延税金資産が63百万円減少し、減価償却累計額が13百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は37,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ655百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は19,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ341百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が288百万円減少したものの、前受金が635百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が233百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は20,971百万円となり、前連結会計年度末に比べ573百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は16,329百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当により利益剰余金が274百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が299百万円があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.8%（前連結会計年度末は44.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において連結業績予想の範囲内で推移しており、2026年5月15日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。連結業績予想の概要の説明は2026年5月15日に公表しました「2026年3月期 決算短信」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,078,625	8,730,569
売掛金	18,027,203	18,750,274
商品及び製品	5,270,670	5,488,556
仕掛品	21,351	22,000
原材料及び貯蔵品	118,964	114,627
前払費用	248,169	191,435
その他	630,972	813,342
貸倒引当金	△151,402	△177,986
流動資産合計	33,244,555	33,932,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,143,080	1,144,018
減価償却累計額	△933,822	△947,441
建物及び構築物（純額）	209,258	196,577
土地	237,367	237,367
その他	364,051	362,696
減価償却累計額	△308,407	△304,839
その他（純額）	55,643	57,857
有形固定資産合計	502,268	491,802
無形固定資産		
その他	118,557	111,824
無形固定資産合計	118,557	111,824
投資その他の資産		
投資有価証券	785,017	833,784
長期貸付金	2,500	2,500
敷金及び保証金	220,181	211,416
繰延税金資産	226,568	163,140
退職給付に係る資産	82,897	81,407
その他	1,598,791	1,607,793
貸倒引当金	△135,487	△135,497
投資その他の資産合計	2,780,470	2,764,546
固定資産合計	3,401,296	3,368,173
資産合計	36,645,852	37,300,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	467,079	447,509
短期借入金	8,043,475	7,932,992
1年内返済予定の長期借入金	1,255,319	1,251,198
リース債務	24,539	24,639
未払法人税等	493,190	205,027
前受金	4,055,744	4,690,962
割賦利益繰延	3,315,639	3,460,345
賞与引当金	60,070	91,754
資産除去債務	11,036	11,105
その他	984,245	936,800
流動負債合計	18,710,342	19,052,333
固定負債		
長期借入金	1,284,171	1,517,754
リース債務	57,649	57,057
退職給付に係る負債	143,355	141,313
資産除去債務	201,183	201,377
その他	1,650	1,650
固定負債合計	1,688,010	1,919,153
負債合計	20,398,352	20,971,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,911,617	1,911,617
資本剰余金	1,968,000	1,968,000
利益剰余金	12,314,261	12,339,099
自己株式	△683	△685
株主資本合計	16,193,196	16,218,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,349	62,921
退職給付に係る調整累計額	50,953	48,553
その他の包括利益累計額合計	54,303	111,475
純資産合計	16,247,499	16,329,507
負債純資産合計	36,645,852	37,300,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,526,529	2,814,649
売上原価	643,132	652,962
売上総利益	1,883,397	2,161,687
販売費及び一般管理費	1,288,635	1,568,491
営業利益	594,762	593,196
営業外収益		
受取利息	787	23
有価証券利息	19,104	—
受取配当金	3,085	2,894
投資事業組合運用益	14,470	—
貸倒引当金戻入額	90	90
為替差益	—	1,399
その他	1,494	12,652
営業外収益合計	39,032	17,059
営業外費用		
支払利息	25,644	20,450
投資事業組合運用損	—	7,586
投資有価証券評価損	—	33,665
貸倒引当金繰入額	100	100
為替差損	51,973	—
その他	2,481	518
営業外費用合計	80,199	62,320
経常利益	553,595	547,935
税金等調整前四半期純利益	553,595	547,935
法人税、住民税及び事業税	194,177	214,458
法人税等調整額	△46,779	34,089
法人税等合計	147,398	248,547
四半期純利益	406,197	299,388
親会社株主に帰属する四半期純利益	406,197	299,388

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	406,197	299,388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,168	59,572
退職給付に係る調整額	△751	△2,400
その他の包括利益合計	43,417	57,171
四半期包括利益	449,614	356,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	449,614	356,559
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	24,281千円	23,094千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	健康産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	1,875,760	416,750	234,018	2,526,529	—	2,526,529
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	8,169	—	8,169	△8,169	—
計	1,875,760	424,920	234,018	2,534,699	△8,169	2,526,529
セグメント利益	265,555	288,941	27,180	581,676	13,085	594,762

(注) 1. セグメント利益の調整額13,085千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	健康産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	2,132,319	464,217	218,112	2,814,649	—	2,814,649
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	8,853	—	8,853	△8,853	—
計	2,132,319	473,070	218,112	2,823,503	△8,853	2,814,649
セグメント利益	229,713	317,906	26,318	573,938	19,258	593,196

(注) 1. セグメント利益の調整額19,258千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社は、2026年7月10日開催の取締役会において、下記のとおり、いわゆるマネジメント・バイアウト(MBO)(注)の一環として行われる株式会社Orsay(以下「公開買付者」といいます。)による当社の普通株式(以下「当社株式」といいます。)に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して本公開買付けへの応募を推奨する旨を決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続を経て、当社株式を非公開化することを企図していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

詳細については、2026年7月10日公表の「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」および2026年7月13日公表の「(訂正)MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

(注)「マネジメント・バイアウト(MBO)」とは、一般に買収対象会社の経営陣が、買収資金の全部又は一部を出資して、買収対象会社の事業の継続を前提として買収対象会社の株式を取得する取引をいいます。